
メディカルカフェ in 横浜磯子だより No.1

発行：2019年9月2日
日本基督教団横浜磯子教会内
横浜市磯子区森 3-17-7

「第4回メディカルカフェ in 横浜磯子が行われました」

涙と共に種を蒔く人は
喜びの歌と共に刈り入れる。
種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は
束ねた穂を背負い
喜びの歌を歌いながら帰ってくる。

(旧約聖書・詩編 126 編 5～6 節 新共同訳聖書)

メディカルカフェのためのお祈りとご協力を心から感謝いたします。今後、働きについて「メディカルカフェ in 横浜磯子だより」（隔月）を発行し報告いたします。

7月15日（月・休）に樋野興夫先生（順天堂大学名誉教授・一般社団法人がん哲学外来理事長）をお迎えし、横浜磯子教会にて「第4回メディカルカフェ in 横浜磯子」が行われました。参加者は34名でした。

樋野先生の演題は「種を蒔く人になりなさい」でした。（今年3月、いのちのことば社から出版された樋野先生の著書と同じ題です）

講演内容は、ご自身の生い立ちや、大きく影響を受けた内村鑑三、新渡戸稲造、南原繁、矢内原忠雄、吉田富三のことばの紹介とその思想。それらに基づいて生まれたがん哲学外来・メディカルカフェとその重要性が語られ、先生の働きも紹介されました。先生の話は何度聞いても新鮮で、新たな示唆を毎回与えてくれます。

お話の中で樋野先生が語っておられたように、「小さな種でも、芽を出し、大きな木として成長し、花が咲き、実をつけ、鳥が巣をつくるように…、どんな人も役割があるのだから、それを果たしていくように。どんなときでも種を蒔く人となりなさい」と言われました。

カフェにて印象的だったことは、がんの当事者の方々が、今、重荷を負っておられるその現実を語られ、涙なしには語ることも聞くこともできないような状態でしたが、皆さんとの語り合いや樋野先生との面談（がん哲学外来）を通して、重荷をおろし、何かしらの光を見出し、帰られる時には明るい表情になっておられたことです。ある方は、「私は、数日後に入院し手術を受けるので、とても重い気持ちでここに来ましたが、とても楽な気持ちになりました。」と、笑顔で帰って行かれました。

ありがたいことに、三浦修道院からシスターたちが毎回参加し応援してくださっています。感謝です。実は三浦修道院でも7月20日（土）に、「第1回メディカルカフェ in 三浦海岸」が行われました。初めての会でしたが、なんと90名ほどの方が集まりよい会を持つことができました。横浜磯子教会からも10名程の方が応援に駆けつけ、車の運転や会場係、ファシリテーター等、多くの奉仕ができたことも感謝でした。

メディカルカフェ in 横浜磯子 代表 中村 清

第5回メディカルカフェ in 横浜磯子のご案内

日 時：2019年10月14日（月・休）13：30～15：00（受付は13時より）
場 所：日本キリスト教団横浜磯子教会1階集会室

どなたでもご参加ください！ 参加費：300円



がん哲学外来から広がる言葉の処方箋

「いい覚悟で生きる」 樋野興夫先生著書



人生いばらの道、されど宴会

心の宴会をたくさん持てば、苦しみを忘れられないまでも、ちょっと離れていることができます。

がん哲学外来カフェの方針の3ヶ条

- 他人の必要に共感すること（自分を押し付けない）
- 暇げな風貌（忙しすぎではない。ゆったりとした雰囲気に対話する）
- 速効性と英断（いいと思ったらすぐ実行）

カフェスタッフの要件の3ヶ条

- 品性（人生の目的は品性の完成である）
- 使命感（偉大なるお節介）
- 犠牲を払う（自らは犠牲になっても、心は豊かになる）

がん哲学外来カフェの役割の3ヶ条

- 個人面談（がん哲学外来）
- 場作り（来訪者にお茶を出す）
- 研鑽（30分間の沈黙にも、お互いが苦痛にならない存在となる）

以上がメディカルカフェの3条件です。



メディカルカフェ提唱者：樋野興夫先生

現在、横浜磯子教会では、毎月第4木曜日の午後3時～5時まで「カジュアルカフェ」と題して、自由なコーヒータイムとして、教会の門を開いています。どなたでも気軽に来ていただき、お茶を飲み対話できるようにと、メディカルカフェの担当者が対応しています。毎月7～8名の方が参加されています。

「カジュアルカフェ」の後、午後5時から「メディカルカフェ学習会」を（5～6時）に行っています。平均10名前後の方がスタッフとして参加し、3ヶ月に1回行う「メディカルカフェ」の準備や学びをしています。このスタッフには教会員だけでなく、地域の方でこの働きに関心を持っておられる方も参加されています。

現在、日本各地150ヶ所以上でこのカフェが開催されています。場所は家庭であったり、公民館や公的な会館、教会やお寺など、さまざまな場所で、それぞれ各会場の特色を生かしたかたちで活動されています。当教会もカフェを開催するようになって、この9月でちょうど1年になります。約3ヶ月に1度、カフェを行なっています。今後も、ご理解とお祈りをお願いいたします。

【編集後記】

「メディカルカフェ in 横浜磯子だより No.1」を発行できましたこと感謝いたします。隔月で発行致します。よろしく願い致します。 (中村)